

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】令和4年3月22日(2022.3.22)

【公開番号】特開2021-101402(P2021-101402A)

【公開日】令和3年7月8日(2021.7.8)

【年通号数】公開・登録公報2021-030

【出願番号】特願2021-38271(P2021-38271)

【国際特許分類】

G 11 B 5/735(2006.01)

10

G 11 B 5/78(2006.01)

G 11 B 5/84(2006.01)

【F I】

G 11 B 5/735

G 11 B 5/78

G 11 B 5/84 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月11日(2022.3.11)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非磁性支持体の一方の表面側に強磁性粉末を含む磁性層を有し、他方の表面側に非磁性粉末を含むバックコート層を有する磁気テープであって、

前記非磁性支持体は、ポリエチレンテレフタート、ポリエチレンナフタート、ポリアミド、ポリアミドイミドおよび芳香族ポリアミドからなる群から選ばれる1種以上を含み

30

前記バックコート層の表面において測定される中心線平均表面粗さRaは7.0nm以下であり、かつ

前記バックコート層の表面においてメチルエチルケトン洗浄後に光学干渉法により測定されるスペーシングSaftterと、前記バックコート層の表面においてメチルエチルケトン洗浄前に光学干渉法により測定されるスペーシングSbeforeとの差分、Saftter-Sbeforeは0nm超30.0nm以下である磁気テープ。

【請求項2】

前記差分、Saftter-Sbeforeは2.0nm以上30.0nm以下である、請求項1に記載の磁気テープ。

40

【請求項3】

前記差分、Saftter-Sbeforeは4.0nm以上28.0nm以下である、請求項1または2に記載の磁気テープ。

【請求項4】

前記非磁性支持体と前記磁性層との間に、非磁性粉末を含む非磁性層を有する、請求項1～3のいずれか1項に記載の磁気テープ。

【請求項5】

前記バックコート層の表面において測定される中心線平均表面粗さRaは3.0nm以上7.0nm以下である、請求項1～4のいずれか1項に記載の磁気テープ。

【請求項6】

50

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の磁気テープと、  
磁気ヘッドと、  
を含む磁気記録再生装置。

10

20

30

40

50